

「企業の新型インフルエンザへの対応はどうすべきか」 ～本番は今冬の可能性も・・・ある専門家が警告～

財団法人大阪科学技術センター ATAC
BCPワーキンググループ 田村 順造

新型インフルエンザ大流行が迫っています！

正しい予防と対応でお客様や従業員と家族の命を守りましょう！

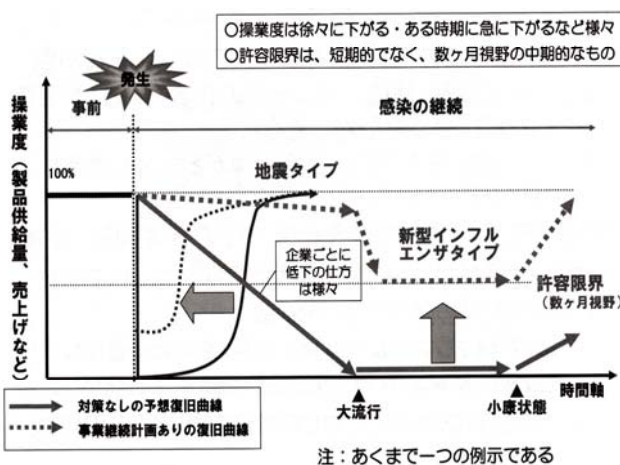
経営の危機を回避しましょう！

企業が地震や大火災などの緊急事態に備え、普段から『緊急時にどの事業を継続させるのか？』や、『そのために何を準備し、どのように継続するのか？』などを検討し、企業にとって中核となる事業を継続するための対策などを取りまとめておくのがBCP（事業継続計画）です。

BCPを策定している企業は、新型インフルエンザの流行時に、感染防止策の実施により、従業員の感染拡大を抑えることができるだけでなく、企業の中核となる事業を必要最小限のレベルで継続することができます。また、こうした的確な対応で、取引先などからの信頼を維持することができます。信頼の向上にもつながります。

事前に「事業継続計画（BCP）」を作成する、しないで、大きな差が出ます。

新型インフルエンザの復旧曲線のイメージ



出典：NPO法人事業継続推進機構（BCAO）

従業員の感染防止を最優先し、発生段階に応じた複数班による交替勤務や在宅勤務などの事業運営体制に移行するなど、流行時においても代替の

要員を確保するBCPを策定している企業は、流行のまん延期においても中核事業を一定レベルで継続することができ、経営への影響を最小限にとどめることができます。

一方、BCPを策定していない企業は、流行の拡大に伴い、感染による従業員の欠勤が増加し、徐々に操業率が低下していくと、事業の休止に追い込まれる可能性があります。また、経営者を含むキーパーソンの感染の可能性もあります。さらには、納期の遅れなどにより、取引先からの信頼が低下し、事業の復帰に大きな支障を来す可能性もあります。

各企業で、取り急ぎ実施すべき事は、

- (1) 迅速な意思決定が可能な体制を整えること
- (2) 従業員や家族、訪問者、利用客を守る感染防止策を実施する
 - ・従業員が、感染したかなと感じた際の行動手順の徹底など
- (3) 新型インフルエンザ発生時の事業継続計画を決めておく
 - ・休業に至った場合の資金の調達手段など
- (4) 定期的に従業員に教育・訓練を実施する
- (5) 事業継続計画の点検是正を行い、より具体的なものにする など

BCP作成は「拙速」でも良い

最初から100点満点のものを作ろうと考えずに、取り敢えず作ってみようという姿勢が大切です。まずい点が見つければ改めれば良いのです。

ATACが お手伝い

自社だけで進めるのに自信がなければ、気軽にATACに声をかけて頂ければ、お手伝いを致します。

ATACには「NPO法人事業継続推進機構（BCAO）」の会員が居り、BCAOの「ガイドブック」に沿って、各企業に相応しい計画書の作成を支援致します。

特に、上記の(3)(4)を得意としています。

～ 第11回社長懇話会出席企業へのアンケート結果から ～

はじめに

中小企業においては多品種少量生産、変動要因が大きい等の理由からエネルギー原単位の顕著な削減が望めないとされてきました。資源エネルギー庁の統計によると、2006年度の中小企業におけるCO2排出量は2億t以上になっています。一方2010年度から省エネ法が改正され工場、事業所毎の管理から企業全体での管理に変わり、原油換算1,500kl/年以上使用企業は特定事業者指定され、定期報告書、中長期計画の提出、エネルギー管理統括者の創設等を義務付けられます。さらに鳩山政権は温室効果ガスを2020年までに90年比25%削減することを国際公約し、さらに排出権取引、地球温暖化対策税を視野に入れています。このような環境から、中小企業においても今後精力的なエネルギー使用量の合理化が迫られてきます。

そこで、省エネルギーに関するアンケート調査を、昨年第11回社長懇話会出席企業18社に依頼し、アンケート回答票を配布後、各企業を訪問してヒアリングを行って回収しました。各企業のご協力を得て回収率100%を達成し、またかなり実態まで把握できたのではないかと考えています。

集約結果の解析及びまとめ

エネルギー使用量の把握方法、取組理由、目的、取組中の内容、課題、補助金等支援策、支援の必要性、情報提供の要望等について設問し

ましたが、以下にその要点をまとめてみました。

エネルギー使用量を把握する際、大部分の企業が金額で管理しており、CO2換算排出量を算出している企業はほとんどありません。

省エネ取組内容を見た場合(図1)、照明、無負荷運転の防止、無駄排除といった簡単なものが主体であり、管理計器を導入した運転技術の改善、自動制御等リスクの大きいものに関しては優先順位、導入効果、投資費用の面から敬遠されているのが実情であります。

省エネ推進に当たっては(図2)、導入機器の情報不足、省エネ投資に対する優先順位が低いことが大きな課題になっています。次いで導入効果に関する情報不足も推進にブレーキをかける原因となっています。

中小企業支援策については半数近くが知らないという状況であります。

以上省エネの取組に関する支援については、形は別にして支援の必要性を感じている企業が多く、ATACとしても現状調査から始めて、各企業の実情に応じて総合的な観点から環境問題に関する支援に積極的に取り組んでいく所存です。現在既に支援を始めつつある企業もあり、お気軽にご相談下さい。

(白石記)

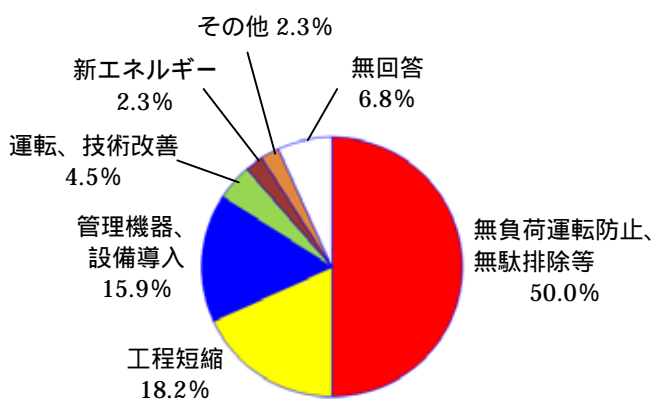


図1 取組中の省エネルギーの内容

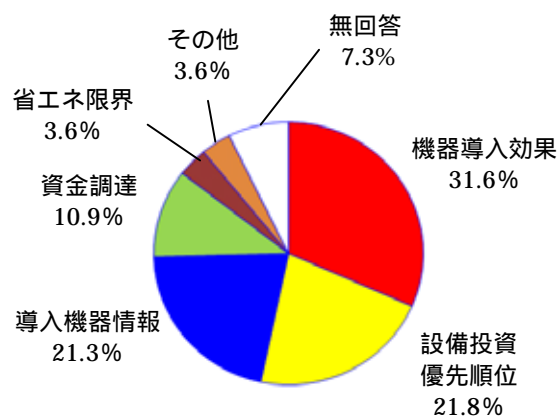


図2 省エネルギー推進の課題



市販の豆腐では味わえない美味しさ
～ 自家製豆腐で健康と豊かな食生活を～

株式会社 MEテック
代表取締役社長 牧野好高

株式会社MEテックは1997年創業の若い会社です。しかしわずか10年余りの間にフード業界の皆様へ大きな貢献が出来た事を大変うれしく思い、また感謝をしている次第です。当社の主力製品である業務用豆腐製造機「豆腐王」が日本全国の大手居酒屋チェーン・ホテル・旅館・各種料理店などに既に5000台普及してご愛顧いただいている事実が当社の誇りです。



業務用豆腐製造機「豆腐王」

一度味わっていただくと、たちまちその美味しさでとりこになってしまう当社自家製豆腐の秘密は、吟味された材料から美味しさを引き出す製法まで一貫して流れる「最高の品質を手軽に作る」ための

こだわりのオリジナル技術です。

「豆腐王」はジュール熱による均一な加熱方式と独自のセンサーを使って3kgの豆腐を20分で作ることが出来ますが、更に多くのお客様に手軽に楽しんでいただけるようATAC様の協力を得て1～2丁の豆腐を僅か5分間で作れる普及タイプの新製品を開発中です。健康で豊かな食生活に当社の豆腐製造器と豆乳をぜひお試しください。



株式会社 MEテック
〒532-0027 大阪市淀川区田川1丁目11番13号
TEL. 06-6886-2255 (代表)
FAX. 06-6886-2274
URL: <http://www.tofuou.com>

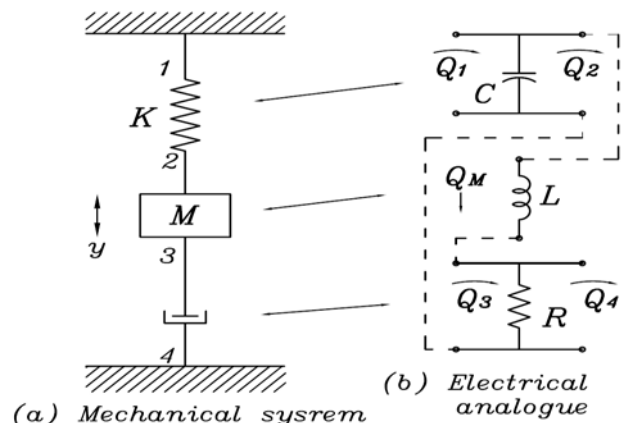
ATAC ひと言 中小企業の専門教育 ATACが指導できる専門分野シリーズ

その3 「機械技術者のための電気」

多くの優れた機械技術者も電気と言うと途端に思考が停止するといった経験をされたことはないだろうか？ 殆どの方は子供の頃、豆球を乾電池で点灯させた経験をしていると思う。以後難関の試験を乗り越え電気以外の専門家となると、電気はチンプンカンプンと自他共に認める人も少なくない。これって何故そうなるのだろうと筆者は機械やに電気を教える時、疑問に思った。電気が嫌いの相手に、電気が好きになる手法が無いかと、ふと学生時代に学んだ自動制御の古い文献を再読すると、あるページで瞬間目から鱗が落ちる経験をした。

それは右図1のようなバネK、重りM、ダンパーfの振動系を電気部品要素で等価的に表した図である。図から機械やさんは位置の変化量(y)を変数として要素形状記号で式を構築している。対して電気は形状変化でなく目に見えない電荷(クーロン: Q)を変数として部品機能記号で表記している。外形・外面的変化で理解する機械技術と、外形等の変化はないが、各要素が果たす内容(意味)で理解する電気技術の特徴があることに気づいた。電気を学ぶ場合、まず頭に描くことは形・寸法等外形的なこと即ち表形(筆者の造

語)で理解せず、電圧・電流・電荷が成す現象、即ち表意(筆者の造語)で理解して学習することを勧めている。以後、こうした指導法が役立つ場面を多く経験した。(三原記)



$$M \cdot \frac{d^2 y}{dt^2} + f \cdot \left(\frac{dy}{dt} \right) + Ky - 0 \quad L \cdot \left(\frac{di}{dt} \right) + Ri + \frac{1}{C} \int i dt - 0$$

$$L \cdot \frac{d^2 Q}{dt^2} + R \cdot \left(\frac{dQ}{dt} \right) + \frac{Q}{C} - 0$$

図1

参考文献: George J. Thaler/Servomechanism analysis/1953



“ニッポンの素材力”

泉谷 渉著 東洋経済新報社 2009年6月25日 ¥1600円+税

～ 「環境・新エネルギー」革命で一人勝ち！～

著者はジャーナリストとして32年間の記者生活を続けているベテランで、本書も数多くの企業を取材した生情報に基づいて書かれているだけに、迫力と生々しさがみなぎり、記者らしく企業合併の裏話等も取り入れて読ませる本に仕上げている。日本を題材にした自虐的な本が多い中で、民間企業の活力を世界に示す痛快な内容は一読に値するヒット作である。

本書の序章は「オバマ大統領のグリーンニューディールでニッポンの新素材が爆発する！！」で始まり、一貫して環境・新エネルギー産業に必要な新素材の現状と展望、日本メーカーの活躍ぶりや課題も含めて著者の言う「地べたを這いずり回るような取材」で描いている。

大企業から中小企業、ベンチャー企業に至るまで、これだけ数多くの企業が登場する本は珍しい。著者の精力的な取材の結果で、意外な企業が意外な製品をつくっていることも知らされた。

また、登場する各社の国内・海外への膨大な工場建設、設備投資の計画はこの不況期に別世界の感

じがするほどで、高い世界シェアを保持・向上しようとする各企業の戦略と意欲が汲み取れて頼もしい。

ただ、問題点も数々指摘している。最大の問題はオバマ大統領のグリーンニューディールに呼応して主要各国が独自のグリーンニューディール政策を打ち出しているのに対して、具体的な投資計画を策定できない国がたった一つだけある。情けないことに我が国ニッポンであると著者は嘆いている。日本が太陽電池の設置に対する補助金制度をなくしたことにより、太陽電池のシェア第1位の座をドイツのメーカーに奪われたことを例に挙げ、今こそ行政の一番との著者の意見には同感で鳩山新政権の重要課題と考えている。(田頭記)



ATAC活動の内容 PR

ATACは長年の経験により培った独自の技術とノウハウを、中堅・中小企業の方々が抱えられるモノづくり、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援し、発展に資することを目的としています。

1. コンサルティング

中堅・中小企業の皆様がお悩みのさまざまなテーマについて、コンサルティングを行います。

- ・モノづくり(合理化・5S・品質改善・新製品の開発)
- ・生産管理システムの構築
- ・事業継続計画(BCP)作成支援
- ・公的資金の導入支援

2. セミナー開催・講師派遣

従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。講演会・研修会へ講師派遣も行ないます。

- ・フレッシュマンパワーアップ研修(3日間)
- ・管理職～中堅社員の社内研修(内容・必要日数は相談に応じます。)
- ・社長懇話会

3. 書籍刊行

- ・ATACの経営便利帳
- ・現場の課題解決はこうする(中堅・中小企業の業務改善例)
- ・中堅・中小企業へのATAC提言集(1)～(6)
- ・目からウロコのアドバイス～中小企業経営者への提言～

4. 産学連携のお手伝い

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

相談無料

まずは、ご連絡下さい

(財)大阪科学技術センター
技術・情報振興部
ATAC事務局

Tel [06-6443-5323](tel:06-6443-5323)

Email atac@ostec.or.jp

URL <http://www.atac.ne.jp>

ATACニュース、Webに関するご意見、ご要望なども、どしどしお寄せ下さい。

編集後記

青く澄み渡る秋空の下で世間を騒がせている新型インフルエンザですが、筆者の小学生の甥っ子と姪っ子も流行に後れず感染してしまいました。幸い2日間ほどの高熱の後、完治したようですが、身近で発生するとより実感がわくものです。予防のための最低限、手洗い・うがいに加え、あちらこちらに設置されているアルコール殺菌を心がけるようにしています。皆様もご自愛下さい。(長岡)